

大阪城

2025

10/16

(木)

14554

号

全港
西成
分會

2025
6647-
4947

みんな秋がようやくやってきて、自然の恵みでは
ホッとして秋風をようこんたりしていたところ。

政治では、急に「総理・首相がスットきまらな
い」状況があるようで、政治の人たちはドタバタして
いるようです。臨時国会も、10/15(水)に開くと
予定していましたが、延期して10/21(火)からと、言っ
ています。自民党の高市総裁が野党のとこかと言っ
つけて、総理になれるのか？、バラバラの野党だけど
なんなかまってる自民党以外の人が総理になるのか
10/21(火)には決まるということです。

将来、予想される日本のしんどさから考えれば、た
まらなかったことのない小波^な嵐^なようです。

将来、おそれかかる小中高断続化、人口減少、一億人
きり人口の日本、AI(人工知能)など、科学技術にた
ちあがり日本と、いろいろ骨太の難題がまかりかま
っています。ほとんどの人が電力を無限に食うスマホ
という小型コンピューターを持ちながら、動いています。
30年ほど前の日本社会とは、日本人自身もかわっ
てきています。政治だけが昭和のしきたりや、やっ
て社会とか、計画やうにはできなくなっています。

ようやく秋だなあーと感じるようになってきた。
クーラーもいらない日が続いている。

地球温暖化がいわれて、夏の日が増えているという。

「春夏秋冬」と四季がはつきりしていた風土から

最近では「春夏秋冬夏秋冬」といわれたり、長い

夏と冬の二季化が進んでいるという。

地球温暖化では、海面水温が上昇し、空気が冷や

されず夏が早く来る。海面水温が高い状態が

続き気温が下がりにくく夏の終わりが遅く

なっている。40年ほど前の記録とくらべると、今は

夏の期間が約21・4日のびているという。

科学の面からも、地球温暖化の原因やメカニズム

についての研究が期待されていて、その科学の成果を

ふまえて、政治・行政的対策などが不十分では、

あるが実行されて今がある。

アメリカのトランプ氏は、地球温暖化の話を、ウソで

ありさきであると大声でわめいている。

アメリカの地球温暖化に対する、科学研究者と

出さなかつたり、廃止したりしている。今年、ノーベル物理

学賞も、その科学者は、トランプの自分か、気にならない

科学への弾圧で、アメリカの科学は10年ほど遅れると

意見を発表しています。